託された未来をひらく
三井住友トラストグループ

2026 年 11 月6日

各 位

三井住友信託銀行株式会社

国際電気通信基礎技術研究所との協業に関する覚書締結について
－先端技術の社会実装を加速し、日本と関西から次世代産業創出を推進－

三井住友信託銀行株式会社（取締役社長：米山　学朋、以下「当社」）と株式会社国際電気通信基礎技術研究所（代表取締役社長：浅見　徹、以下「ATR」）は、この度、ディープテック等の先端技術を有するスタートアップ領域における協業に関する覚書（以下「本覚書」）を締結しましたのでお知らせします。

1.　目的・背景

日本は、人口減少やエネルギー・食の安全保障といった社会課題に直面する一方、AI、量子技術、ロボティクス、次世代通信などのディープテック分野において、新たな成長産業の創出が期待されています。こうした中、研究開発成果を社会実装し産業化につなげる力が、国や地域の競争力を左右する重要な要素となっています。

特に関西においては、世界トップクラスの大学・研究機関や企業が集積する強みを有しており、スタートアップ、研究機関、企業、金融機関の連携を通じて、人材と機会の好循環を生み出し、アジア、そして世界を代表するディープテックハブの形成が期待されています。

ATR は、長年にわたり AI、脳情報科学、通信、ロボティクス等の先端研究に取り組むとともに、海外のディープテックスタートアップやスタートアップ支援機関、政府系機関とのネットワークを活用した事業開発支援・アクセラレーション活動を展開してきました。

一方、当社は、信託銀行として培ってきた金融・不動産・資産運用・資産管理等に関する知見に加え、大企業を中心とした幅広い顧客基盤やネットワークを有しており、新規事業創出やオープンイノベーション支援にも取り組んでいます。

当社および ATR は今回の連携を通じて、世界の先端技術と日本企業をつなぐ架け橋となり、ディープテックの社会実装を推進します。関西から世界へ挑戦するスタートアップや事業創出を支援し、国内外の研究者、起業家、企業、投資家が集う「アジアを代表するディープテックハブ」の形成に貢献するとともに、日本の産業競争力強化と持続可能な成長の実現を目指していきます。

2.　本件の概要

（1）ディープテックスタートアップ領域における協業推進

当社および ATR は、相互に協議の上、イノベーションの社会実装に向けた「ディープテックスタートアップ領域」における連携・協業を推進します。

(2)ATR による支援内容

ATR は、ATR に関連するソリューションの社会実装に向けて、以下の支援を行います。

- ATR が有する海外のディープテックスタートアップ、スタートアップ支援機関及びイノベーション関連機関とのネットワークを活用したソリューションサーチ
- 当該スタートアップが保有する先端技術に関する初期評価
- 先端技術を活用した事業開発や社会実装に向けた初期構想・設計に関する助言
- その他、技術・事業化に関する専門的知見の提供

(3)当社による支援内容

当社は、取引先企業とのネットワークおよび信託銀行ならではの機能を活用し、以下の支援を行います。

- 取引先企業の課題を補うディープテック関連情報の提供
- 具体的なディープテックの社会実装に向けた事業推進体制の構築およびチームビルディングをサポート
- 特定の二社間で生まれた協業可能性を具現化する事業性評価やデューデリジェンスの実施
- 新たなディープテック系スタートアップ企業の事業モデル・事業戦略の設計支援
- 資金調達・投資・信託機能等を活用したファイナンススキームの構築

三井住友トラストグループは「託された未来をひらく」をパーパスに掲げ、社会課題の解決と持続的な経済成長の両立を実現する「社会課題解決型ビジネスのリーディングカンパニー」を目指しています。

今後も当社は日本の産業競争力強化と持続可能な成長の実現に向けて、関西のディープテックハブを基盤としたイノベーション創出ならびに社会実装に貢献していきます。

以 上